

◆夢を育み 明日が待たれる 魅力ある学校づくり◆

# 北教だより

茨城県県北教育事務所

令和4年10月31日(月)

第10号

電話 0294-34-0774

FAX 0294-32-0006

E-mail hokukyo@pref.ibaraki.lg.jp

## 【理科】 科学的な問題解決・探究的な活動の場に一工夫を

各学校におかれましては、児童生徒の理科への興味・関心を高め、学力向上を図るために、授業の質の向上、問題解決や探究的な活動の充実等、日々のご尽力に感謝申し上げます。

さて、4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が、国立教育政策研究所より7月末に公表されました。学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげるためにとても重要な資料です。大切にしたいことを掲載しましたので、明日が待たれる魅力ある学校づくりへの更なる取組の充実にお役立て願います。



### 指導改善のポイント

小学校	領域	中学校
結果の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として表現する場面を設定する。	エネルギー	測定値の不足から妥当性の高い考察が行えない場合、測定する間隔や範囲などの改善点を明確にし、実験の計画を検討して改善する学習活動を充実する。
児童同士が話し合う中で、自分や他者の気付きを捉え、差異点や共通点を基に、問題を見いだす場面を設定する。	粒子	知識及び技能と身近な現象を関連付けて探究する場面を繰り返し設定する。
	生命	実験計画の際に予想や仮説と異なる結果が出ることも想定し、課題を解決するための適切な探究方法について見直しをもつ場面を設定する。
結果などから結論を導き出すために必要な数量、変化の大きさなどの特徴を見つけ、自分の考えをもち、それらを話し合う場面を設定する。	地球	他者の考察の根拠としている観測データの種類や科学的に探究する方法が妥当か検討する場面を設定する。

茨城県教育委員会HP公表資料及び令和4年度全国学力・学習状況調査報告書より一部抜粋

## 【外国語活動・外国語】 言語活動の充実を図り、アウトプット中心の授業を

外国語活動・外国語科の学習指導要領における目標では、小学校から高等学校まで共通で「言語活動を通して」という表現が見られます。文部科学省では、「言語活動」を次のように定義しています。

### 【言語活動とは】

- 「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」活動
- 「情報を整理しながら考えなどを形成するといった『思考力、判断力、表現力等』が活用されると同時に、英語に関する『知識及び技能』が活用される」活動

言い換えれば、英語を用いてはいるが、単に歌を歌ったり、単語や表現を反復練習したり、機械的に文字を書いたりするのは「練習」であり、「言語活動」と明確に区別されています。ぜひ、伝え合う目的や必然性のあるコミュニケーション場面を授業で創り出していただき、言語活動を振り返る際のポイントとしてください。

### 【言語活動のポイント】 ※外国語活動・外国語の授業を参観される先生方も参観する際の参考としてください。

- 活動形態をペアやグループ、学級全体に向けた発表などに工夫しているか。
- 児童生徒にとって身近で、質問したり答えたりする必然性のある活動になっているか。
- 児童生徒がコミュニケーションの楽しさを実感できる活動になっているか。
- 児童生徒に気付かせたり、考えさせたりする活動になっているか。

具体的な言語活動の指導方法等については、映像資料を視聴することで具体的なイメージがもてると思います。文部科学省 mextchannel「外国語教育はこう変わる!」の動画では、授業づくりに向けた解説動画を学校段階ごとにご覧いただけます。(QRコード参照)

ぜひ、ご自身での視聴はもちろん、外国語科部員会等でご活用いただき、授業改善にお役立て願います。



文部科学省  
mextchannel  
動画一覧